

こちり編集室 From EDITOR

挑戦の現在地

町議となり3度目の定例会が終わりました。今の自分の一般質問に点数をつけるとしたら何点だろうか。学生時代はテストで、社会人は昇給や賞与で評価された。母としては評価されなくても、子供の笑顔と成長が何よりの喜びだった。

では議員の評価とは何か。AIからの答えは“どんな軌跡を残したか”とのこと。どんな声を拾い、どんな課題を見つけ、どんな提案をし、どんな変化を起こし、どんな姿勢で向き合い続けたか。これは短期では測れない。でも、確実に積み重なっていく。…点数のつかない世界に飛び込んだはずなのに、結局点数がほしい昭和生まれです。

というわけで、私の一般質問を評価してくれる心優しい方いらっしゃいますか。(井上景子)

議会広報特別委員会

委員長 月田 均

副委員長 川端 悟

委員 峯岸敬一・笛木美登利

嶋田由紀子・井上景子

発行責任者(議長) 新井賢次

ダレモ傍聴

次の9月定例会は

2026 **9.1** 火 → **17** 木

本会議・委員会はだれでも傍聴できます。
詳しい日程は8月末に議会ホームページでお知らせします。

たまむり議会川柳

移住なら
麦秋の郷

玉村へ

(詠み人 やまどり)



玉村町議会



ラヂオななみ



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています



上新田・下新田地区

まちづくり玉村塾

【取材：笛木美登利委員】



歴史資産を生かした協働のまちづくり

日光例幣使道玉村宿が原点

2002年に旧日光例幣使道(現県道142号線)沿いにある築50年以上の建物を対象とした「歴史資産基礎調査(旧玉村宿地域)」が行われました。これを機に2003年町民と町の協働による「まちづくり玉村塾」が設立され、例幣使道の宿場町の上新田・下新田地域の「歴史資産を生かしたまちづくり」をテーマに活動が始まり、今年で塾創立23年を迎えました。

学びながらイベント開催

まちづくりの知識やノウハウを先進地への視察や勉強会などにより学び、マップ作成や景観ガイドラインの提案、酒蔵を活用した酒米の栽培と地酒づくり、「酒蔵ジャズコンサート」や赤煉瓦倉庫の実験活用、玉村八幡宮での「燈籠宵まつり」などのイベントを開催し、愛着のわくオンリーワンのまちづくりを目指しています。

挫折を乗り越えみんな笑顔で

私たちの活動とは裏腹に社会状況の変化、道路拡幅などにより、古い佇まいの面影を残した建物は取り壊され、町並みは姿を変えました。そのため活動に戸惑いと挫折を実感しましたが、八幡様を中心としたイベントを通して町民のみなさんの笑顔を励みに、愛着をもって暮らせるまちづくりに向け活動しています。

現在の活動



春：杜のコンサート



秋：燈籠宵まつり



冬：まちづくり勉強会